



# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第121号  
令和8年1月 28日

## 言葉がつなぐ心と学び～研究大会で得たもの～

校長 諸橋 智

言葉は、単なる情報を伝えるための道具ではありません。その土地に根づいた文化や、相手を思いやる人の心が、そっと込められています。

市内のある地域では、道端ですれ違ったお年寄り同士が、こんな言葉を交わすことがあります。

「おめさん、はかいったかね」（あなた、仕事ははかどりましたか？）

「いいやねえ、ぜんぜんダメらてばあ」（いいえ、全然ダメでした。）

「そんげんなら、しねばいいこってね」（そんなに一生懸命しなくていいんだよ。）

文字だけを追えば、思わず耳を疑ってしまうようなやり取りですが、そこに流れているのは、「今日の仕事はどうでしたか」「無理をしなくてもいいですよ」という、相手を気遣う温かな思いです。声の調子や表情、場の空気と結びついたとき、言葉は本来の意味をもって人の心に届くのだと、あらためて感じさせられます。

それは、子どもたちの言葉も同じです。

教室でよく耳にする「これ、ちょうどいい」という一言も、語尾が少し上がるだけで称賛になり、下がれば否定にもなります。実際に顔を合わせ、やり取りを重ねていれば誤解は生まれにくいのですが、文字だけのやり取りでは、思わぬ行き違いが起こることもあります。

だからこそ当校では、日々の学習や生活の中で、役割の交流・思考の交流・感情の交流の三つを大切にしながら、互いの思いを確かめ合う対話ある学びを重ねてきました。自分の考えを伝えること、相手の思いに耳を傾けること、その積み重ねを、何よりも大切にしています。こうしたコミュニケーションを土台とした学びは、学力の向上にも確実につながっています。

1月11日に開催された全国算数授業研究大会新潟大会では、300名を超える教員が来校され、教室によっては八十名もの教員が参観する中で、子どもたちは普段通りの姿で授業に臨みました。

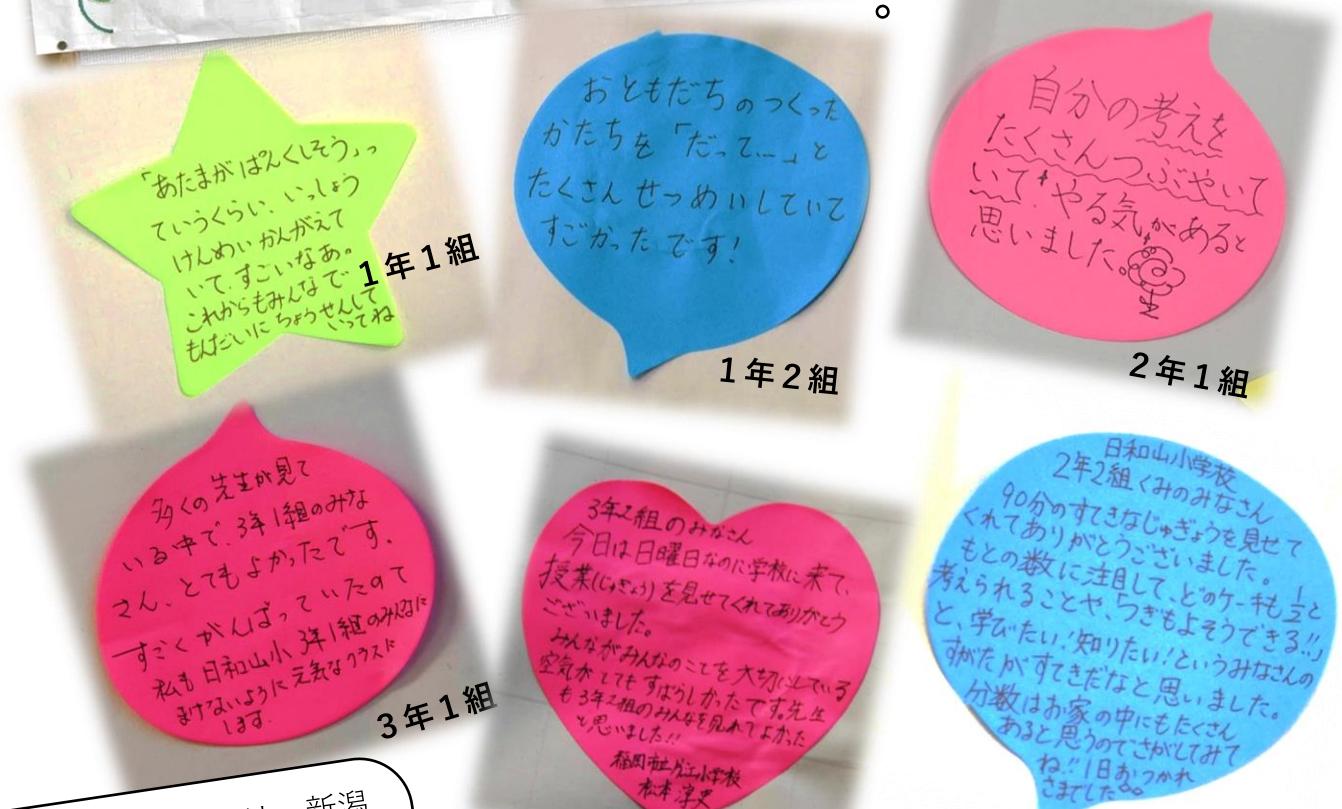
授業後、ある子が思わず「こんなに面白い算数の授業は、生まれて初めてです！」と声を上げると、そばにいた友達が「そんなこと言うと、担任の先生に失礼だよ」と、そっと気遣う場面がありました。学ぶことを楽しみながら、人との関係を大切にしようとする子どもたちの姿に、教室全体がやさしい空気に包まれたひとときでした。

参観された教員の皆さんからは、「本当に落ち着いた学級ばかりで皆さんよい子たちですね」「自分の考えを素直に言葉にしていますね」「友達の思いを受け止めながら話し合えていますね」「根気強く最後まで集中して考えていましたね」といった言葉を数多くいただきました。

これらは、研究大会という特別な一日の成果ではなく、日々の対話を重ねる中で、考える力、伝える力、そして学力が、着実に育ってきた証であると受け止めています。

これからも当校では、言葉と文化を大切にし、人ととのつながりを学びの土台として教育を進めてまいります。子どもたちが、自分の思いを安心して表現し、仲間と関わり合いながら学びを深めていけるよう、教職員一同、心を一つにして取り組んでまいります。

保護者の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げるとともに今後も変わらぬご支援をお願いしてお礼とします。



スマイル学級では、新潟柳都中学校の特別支援授業マイスターの竹田先生はじめ坂田先生、両川小学校新保先生が特別授業をしてくださいました。とっても楽しい時間になりました。





他の学校の子たちが3連休の中、  
算数の授業を一生懸命やっていたとても  
ステキだなと思いました。先生や友達の話を  
よく聞いたり、自分の考えを人に書いたり、友達と  
自然と話し合うところがすばらしいなと思いました。  
また、今回学んだことと、これから行く  
新コップルムズで活かしていける  
といいですね。  
ありがとうございました。

4年1組

むずかしくても  
最後の1人間まで  
考え続けている人がいた  
とてもかっこよかったよ！  
できな6年生になるため  
にがんばってください！

5年2組

日和山小学校 5年生のねはんへ  
2時間連続や、しかも多くの先生が  
見守る中での算数の授業…そんな中、  
ねばり強く問題に取り組む姿に  
とても感動しました。分からなくなったら  
友達と相談したり、4×3マス魔術陣や  
枚追縁を使いこなしたりなど、  
スーパー5年生だと思いました。  
ありがとうございました。

5年1組

みんなの力を  
合わせて解決していく  
すべてがすばらしかったです！  
タルカツ丼とモリモリ食べて  
たくさん学んで、立派な  
大人になつて  
ください！

4年2組

みんながたくさん考えていい  
姿がとても印象的でした！  
地球温暖化は本当はどうかなど  
たくさん見つけて、伝えようと努力  
本当にすばらしいと思いました。  
ありがとうございました！！

6年1組

6年2組 最高！  
根気強く考え、それで  
考えをみんなでつなげ  
がんばっていましたね。  
友達への声掛けも  
ナイスでした。

6年2組

楽しかったよ。  
ぼくも見て楽しか  
たです。滋賀に帰る  
ついでにあります。  
まだある



友達どうしの関わり合いが自然  
に生まれたり、良い反応がたくさん  
あふてたのがすごいなと思いました。  
思いました！ 7歳で6年生の担任  
をしてますが、みんなさんに負けない、  
すてきなクラスを  
めざします！

まだまだある

## ピア・サポートで「がんばる」「協力」「あったか言葉」の大切さを

つながるプロジェクト 斎藤 隆

ピアサポートの取組として、「がんばる・協力・あったか言葉」の大切さを、さまざまな活動を通して学んでいます。縦割り班での遠足「しも町アドベンチャー」では、秋晴れのさわやかな一日、子どもたちはそれぞれの班で行く場所や遊びを相談し、自分たちで計画を立てて巡りました。各学年の役割があります。例えば4年生はタイムキーパーとして、時計を見ながら声を掛け合い、計画通りに進めようとする責任をもって取り組みました。合言葉は、「みんなで考える・みんなで決める・みんなでやり遂げる」。活動後には、「迷ったけれど、みんなで協力してできた」「疲れたけれど、やりきって楽しかった」といった感想が聞かれ、自分たちで決めて行動する中で、協力の大切さや達成感を味わうことができました。



また、全校長なわ記録会に向けて、縦割り班で赤白対抗に挑戦しています。失敗しても笑顔で何度も挑戦し、「ドンマイ！」「がんばっているね」とあったか言葉を掛け合う姿が見られます。みんなで声をそろえて数を数え、苦手な子にはタイミングを教えたり手をつないだりと、協力する姿が広がっています。この学びが、今後一層学校生活を豊かにし、子どもたち一人一人の未来につながるよう私たち教員もサポートしていきます。



## 自ら問い合わせをもち、解決に向かう子どもの育成をめざして

かんがえるプロジェクト 近藤 真弓

日和山小学校では、「分かる・できる授業」を目指した授業改革に取り組んでいます。

「自ら問い合わせをもち、解決に向かう子どもの育成」をテーマに授業改革に取り組み、今年で3年となりました。疑問や課題に対して、自らの方法で解決しようと動き出す主体的な学びに取り組む子どもを目指してきました。さらに、友達とのかかわり合いによる協働的な学びの中で自分の考えを広げたり、深めたりする全員参加の学びになるよう、授業研修に取り組んできました。どの授業においても質の高い学習課題の工夫と自力解決を促す手立てを工夫した授業改革を目指し、各学級が1回は教員に授業を公開し、研究協議を行うなど、1年を通して授業改革研修を行いました。



家庭学習の充実にも取り組みました。新潟市では、小学生に毎日「学年×10分間」以上の家庭学習を推奨しています。自主学習（自学）の取組では、適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力や授業と関連させながら工夫して学ぶ力の育成にも力を入れています。今年度も柳都中学校と連携し、2回の「家庭学習強調週間」を行いました。家庭学習の習慣を身に付けることは、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とともに自ら学ぶ力の育成につながり、「分かる・できる」をより確かなものにできます。今後も、子どもたちが家庭学習に取り組めるよう、家庭と学校で連携して取り組めるようご協力をよろしくお願ひします。

